



かしま

ほっと

HOT

ほっと

hot

通信

2月号 Vol.397

令和8年（2026年）2月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室
■発行/社団法人 養生会〒971-8143
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088ご意見・ご感想は...
上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
かしま病院広報企画室 まで
kouhou@kashima.jpホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

スマートフォンをご利用の方は、
QRコードを読み取り、アクセスしてください。
PCサイトと同じ内容がご覧頂けます。1
2

巻頭特集

入職からの1年を振り返り
新入職員インタビュー！

看護の出前講座in遠野中学校

3

リハビリポスト (179)

総合診療専攻医の

新・ようこそ家庭医療へ！ (192)

4

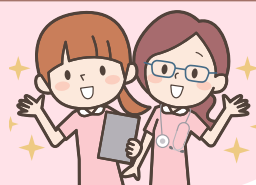
職員対象の接遇研修 実施

いとちプロジェクト
内田市長へ表敬訪問

研修会報告 (せん妄と認知症)

かしまデイサービス通信

認定看護師による 勉強会のお知らせ



日時 令和8年2月18日（水） 18時～19時

会場 かしま病院コミュニティーホール

講師 岡田 聡子（緩和ケア認定看護師）

内容 利用者さん、患者さん、家族の心へ届くエンゼルケア

申込み ▶ 当院ホームページの申し込みフォームからお申し込みください



講師からのコメント

一緒に学びを深めて、私たちが施す最期のケアが残されるご家族
の慰めになれば幸いです。

是非、研修会のご参加をお待ちしております。

巻頭特集

入職からの1年を振り返り 新入職員インタビュー！



小湊 菜月さん

看護師



- ① 入職1年目は覚えることも多く、慣れない業務に苦勞しましたが、先輩方が丁寧に声をかけてくださったことが印象に残っています。支えられながら成長できた1年でした。
- ② 2年目は基礎を大切に、自立して行動できるよう努めていきたいです。

難波 妃莉さん

看護事務



- ① 初めて医療の現場に飛び込み、不安や戸惑いを感じながらも質問しやすい温かな環境と皆さんに支えられ、働くやりがいを感じた1年でした。
- ② 2年目は学びを深め、丁寧に正確な事務を心掛け、看護部の力になれるよう成長していきます。

須藤 来渚さん

理学療法士



- ① この1年は緊張も沢山したのですが、先輩方の温かい雰囲気と病院の楽しいイベントで少しずつ前向きになりました。特にいわきおとりが思い出です。
- ② 次は教える立場になるので、学びを活かせるように努力を続けていきたいです。

青木 詩栞さん

診療放射線技師



- ① 先輩方のご指導のもと検査に携わる中で、患者さんから検査後にお礼の言葉をいただけたことが印象に残っています。
- ② これからも日々の積み重ねを大切に、学びながら知識を深め、一つひとつの業務に向き合っていきたいです。

Question

- ② 2年目に向けての抱負
- ① 入職して1年目はどんなことが印象的でしたか？

今年度、当院に入職した職員は17名。4月の入職時に比べ、少しずつ成長していき、まもなく2年目を迎えます。そんな新入職員へ次の質問に答えていただきました。





佐原 愛乃さん

作業療法士



- ① 分からないことがあれば丁寧に優しく教えてくれます。また他職種の方と仲が良くコミュニケーションをとる機会が多いです。
- ② スキルや知識アップ向上に努め、患者さんに寄り添ったリハビリができるように頑張ります！

清水 優空さん

理学療法士



- ① 入職して印象的だったことは雰囲気の良さです。特にスタッフ間だけでなく患者さんと関わる中でも笑顔が多くみられたことが印象的でした。
- ② 2年目ではそのような先輩方の良い部分を学び、吸収できるよう同期と支え合い切磋琢磨して頑張ります。

入職からの1年を振り返り.....
新入職員インタビュー！

吉田 愛理さん

言語聴覚士



- ① 初めてのことが多く、毎日が慌ただしく過ぎていく中でも、患者さんやご家族の温かい言葉が印象に残っています。
- ② 今後も、親身に寄り添える言語聴覚士で居られるよう、初心を忘れずに向上心を持って業務に取り組んでいきたいです。

古川 あすかさん

作業療法士



- ① 入職して印象に残ったことは、入院当初から患者さんを担当し、機能が回復していく過程を間近で見られたことです。
- ② 来年度は、より根拠を持った介入・関わりを意識し、患者さんの「出来た」を増やせる作業療法士を目指したいです。

中野 歩夢さん

作業療法士



- ① リハビリのプログラム立案やスタッフ間のコミュニケーションに苦労しましたが、雰囲気の良さや相談のしやすい環境に助けられました。
- ② 患者さんの生活を支援する作業療法士として、より良いリハビリを提供出来るよう、努力していきます。

高坂 凜香さん

社会福祉士



- ① 一人ひとり抱えている悩みや不安が異なるため、患者さんやご家族との関わり方や支援方法に悩むことが多かったです。
- ② 2年目からは、1年目で学んだ経験を活かし、患者さんやご家族に対してより良い支援を行えるように努めていきたいです。

御幡 莉々彩さん

事務職
(地域医療連携課)

- ① 入職当初は連携課について知識がありましたが、様々な場面で他部署と関わり、多くの部署と連携出来る点が印象的でした。
- ② 2年目は、1年目に出来なかった事を一つずつ克服し、報連相を徹底して業務に取り組んでいきたいと思っています。

渡辺 遥さん

言語聴覚士



- ① 患者さんに合った関わり方を模索することの難しさ、多職種連携の重要性を実感できたことが強く印象に残っております。
- ② 今後は後輩を迎える立場となるため、知識や技術の向上に努めながら後輩を支えられるよう精進して参ります。

譽田 ゆいさん

管理栄養士



- ① 先輩方が周りのことをよく気にかけてくださるところが印象的でした。注意すべきところを丁寧に指導して下さるので、至らない点が多い私でも成長できているように思います。
- ② 今年から新しい業務が始まったので、またしっかり学んでいきます。

沖田 笙さん

管理栄養士



- ① 1年目は初めての業務に戸惑いもありましたが、先輩方の丁寧な指導と温かな気遣いに支えられ成長できました。
- ② 2年目は、給食の質の向上と自ら学ぶ姿勢を大切に、患者さん一人ひとりに合った栄養支援に取り組みたいです。

大沼 亜衣さん

管理栄養士



- ① 入職して1年目は、先輩方が周りを見て行動し、時間内に協力して全ての業務をこなしていることが印象に残りました。
- ② 2年目に向けて、私も先輩方を見習い、周りを見て気遣いのできる行動をしていきたいと思っています。

根本 実歩さん

事務職
(医事課)

- ① 1年目は覚えることが多く大変でしたが、できることが増えていく喜びもあり、成長につながったと思います。
- ② 2年目は、1年目で学んだことや失敗を活かし、自信を持って仕事ができるように日々学び続けていきたいと思っています。

長谷川 由佳さん

事務職
(健診課)

- ① 1年目は覚えることが多く毎日大変でしたが、皆さんのサポートのおかげで乗り越えられました。
- ② 2年目は仕事内容もステップアップし、やるべき事も増えたので一層引き締め楽しく仕事に向き合いたいです。引き続きご指導をお願いします。



看護の出前講座 in 遠野中学校



2025年11月25日（火）、いわき市立遠野中学校にて、福島県看護協会主催の「看護の出前講座」を行いました。

当院看護教育室課長の黒田が講師を務め、終末期（人生の最期に向かう時期）の患者さんが感じる「スピリチュアルペイン」生きる意味を失くす痛み」から、「いのちの大切さ」と「存在する意味」について全校生徒で考えました。

参加した3年生からは「いのちの大切さを知り、これからの生活をより楽しく生きていきたいと感じました。」「自分が生きるためのやりがいを見つけようと思いました。」など、たくさんの感想をいただきました。生徒の皆さんは、「いのち」や「生きる意味」と真剣に向き合い、自分も他者も大切にしたいという思い、多くの支えがあることの気づきを得てく



きが必要となります。脳に障害が生じると、注意がそれやすくなったり、判断に時間がかかったりすることで、事故につながる危険性が高まることがあります。特に高次脳機能障害を伴う場合は、記憶障害や注意障害などのため、複数の情報を同時に処理することが難しくなり、急な交通状況の変化に対応できなくなる場合があります。

高次脳機能障害があるかどうかは外見の動作からは分かりにくく、また本人が自覚しにくいこともあります。そのため、脳に障害を受けた場合には本人や家族だけの判断で運転をしてしまうのは大変危険です。医師などに相談の上、高次脳機能障害における課題をクリアする必要があります。そしてその後、自動車教習所での実車訓練などを行って、運転が可能かどうかを判断する必要があります。

作業療法士 下鍋 愛理



生 活のために自動車の運転が必要であるという方は多くいらっしゃいます。通勤や通院、買い物など、特に公共交通機関が限られている地域では、自動車は日常生活を支える大切な手段となっています。

一方で、脳卒中や脳挫傷などの病気やけがによって脳に障害を受けた場合、これまで当たり前でできていた自動車の運転が難しくなることがあります。

自動車の運転にはハンドルやブレーキを操作する身体機能の他に、周囲の状況を正しく判断する力、信号や標識、歩行者や他の車に注意を向け続ける力、危険を予測して適切に判断する力、そしてその判断に基づいて正確に操作する力など、さまざまな脳の働



自動車運転について

総合診療専攻医の **新** ようこそ家庭医療へ!

毎日が成長痛! 専攻医の修行日記

#192

「先生にお任せします」と言われたとき

これまでさまざまな病院で診療を行い、実に多様な背景や疾患を抱えた患者さんと向き合ってきました。特に近年は、老年医学の分野が学術的にも大きく発展し、ガイドラインや指針が整備され、治療の選択肢がとて増えてきたと感じています。

そのため私は、患者さんに病状や治療方針を説明する際、適応がある範囲でできるだけ多くの選択肢をお伝えするよう心がけています。ところが、そうして説明を終えると、患者さんやご家族から「先生にお任せします」と言われることが少なくありません。

信頼していただいている証と受け取ることもできますが、一方で「これはその方の人生に関わる大切な選択なのだから、きちんと理解し、自分で決断してほしい」と思ってしまう自分もいます。「お任せします」をそのまま受け止めるべきなのか、それとも一見冷たく聞こえても「しっかり自分で考えましょう」と伝えるべきなのか、日々迷いながら診療しています。

「患者さんと一緒に考える」ことが理想だと思いつつも、それが常にベストなのかは、正直まだ分かりません。答えの出ない問いを抱えつつ、今日も患者さんと向き合っています。



ほほお、「先生にお任せします」か。医者なら一度は耳がピクッと動く言葉じゃない。嬉しいような、重たいような、なんとも言えないやつじゃ。ええか、その言葉にはの、「全部決めてください」もあれば、「一緒に背負ってください」もある。人によって意味はてんで違う。だから難しいんだよ。若い医者ほどな、「自分で決めなさい」と言いたくなる。立派じゃ。でもな、人生の分かれ道で「選択肢は〇個あります」と急に分岐点の地図を渡されても、足がすくむ人もおるんじゃないよ。逆に、全部任せられても、医者の肩がガチガチに凝る。これもまた事実じゃ。わしのおすすしめはな、「全部決める医者」でも「全部返す医者」でもない、その間じゃ。「お任せします」と言われたら、「では、私ならこう考えますが、どう思われますか?」と、そつと球を返す。それだけで、患者さんは、「一人で決めていない」と感じられる。答えが出んままで悩んどう? それでええ。悩まん医者より、悩む医者のほうが、よほど信用できる。医療はな、正解探しじゃない。納得探しじゃ。まあ、迷いながら一緒に考える。その姿勢を忘れん限り、道はそう外れん。あとは深呼吸して、今日も診療室へ行きなさい。おぬしならではの人生相談所は、もう開いとるぞ。

病院長のコメント

長老のお告げ

「おじいちゃん知ってる」

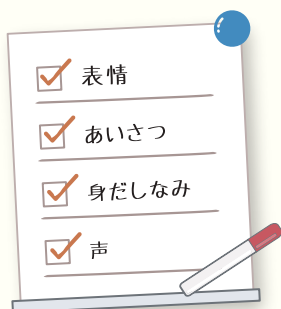
石井敦病院長



職員対象の接遇研修を行いました。

接遇を通して、信頼される医療を…。

かしま病院には26の委員会があり、その中の一つに接遇委員会があります。接遇委員会では毎年接遇研修を行っており、今年は職員を対象に「接遇の基本」と「かしま病院コミュニティボックス（意見箱）」について研修会を開催しました。



今年の接遇研修は2回に分けて行い、合わせて約130名の職員が参加しました。前半の「接遇の基本」では、表情・あいさつ・身だしなみ・声についての基本的な接遇を確認し、後半の「コミュニティボックス」では、設置の目的や設置場所・投書内容と傾向等について情報共有を行いました。コミュニティボックスの今年度の投書内容を、接遇や施設・設備について等4つに分類した場合、良い事も悪い事も含め接遇に関する投稿が最も多い結果となりました。患者さんに「安全・安心」な医療を提供できるよう、より良い接遇を心がけていきたいと思います。



いとちプロジェクトが 内田市長へ表敬訪問を行いました！



この度、当院の「いとちプロジェクト」が、「第1回昭和・上條医療奨励賞」を受賞いたしました（HOThot 通信1月号掲載）。こちらの賞は、医療振興を目指して他職種と連携した成果が期待される活動を表彰するものです。

表彰を受け、1月13日（火）にいとちプロジェクトメンバーが内田市長への表敬訪問を行い、これまで取り組んできた活動の成果を報告いたしました。

表敬訪問では、地域の皆さんと共に歩んできたこれまでの成果や思いを伝え、内田市長からは温かい応援の言葉をいただきました。今後も地域の皆さんと共に医療を拓く共創型地域医療を推進し、「安心のまちづくり」を進めてまいります。



社会福祉法人
養生会

かしまデイサービス 通信

新年会

1月2日(金)



1/2（金）デイサービスセンターで新年会を行いました。お節料理に年明けうどん、おめでたい獅子舞、職員による余興、最後におみくじを引いていただきました。今年も利用者さまと一緒に、楽しい時間や思い出をたくさん作っていききたいと思います。



「せん妄と認知症の人への 対応力向上研修」を行いました。

Study



国立がん研究センター東病院精神腫瘍科の小川朝生先生をお招きし、せん妄の予防と対策についてご講演いただきました。研修会には医師や看護師をはじめ多職種が参加し、せん妄を判断するポイントや、せん妄を予防・早期発見するためにはそれぞれの職種でどのように行動するべきなのかを学びました。